

平成 30 年 1 月 17 日 更新

部会構成メンバー	
<ul style="list-style-type: none"> ・長岡商工会議所青年部 小林 ・障がい者就業・生活支援センターこしじ 入倉 ・工房はくさん 深川 ・長岡市商工部産業政策課 寺山 Ⓜ越路ハイム地域生活支援センター 五十嵐 Ⓜ長岡市障害者基幹相談支援センター 丸山・松崎 ・長岡公共職業安定所 渡邊 ・野いちご工房 神保 ・長岡市立高等総合支援学校 矢島 ・福祉課 棟方・山田（牛木課長補佐） Ⓜ障がい者支援センターあさひ（分室こしじ）坂詰 ※敬称略 Ⓜ…事務局 	
会議開催経過	議題・検討内容
【第 1 回】 平成 29 年 5 月 2 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡市障害者自立支援協議会の運営体制について ・平成 28 年度就労部会の振り返り ・平成 29 年度就労部会活動方針・年間スケジュールについて
【第 2 回】 平成 29 年 7 月 4 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・就労ワーキング(見学システム)についての報告 ・関係機関一覧表の充実及び改善の検討 ・ジョブコーチについて説明および情報共有 ・取り組みを共有するための体系図について
【第 3 回】 平成 29 年 9 月 6 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・第 5 期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画について ・就労ワーキング(見学システム)についての報告
【第 4 回】 平成 29 年 11 月 15 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・就労ワーキング(見学システム)についての報告 ・実習先開拓にかかわる情報交換と実態確認について
【第 5 回】 平成 30 年 1 月 17 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・就労ワーキング(見学システム)についての報告 ・今年度の振り返りと評価及び来年度の取り組み内容の検討
取組今年度の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・企業が就労支援事業所を見学できるようなシステムの検討。 ・実習先開拓にかかわる情報交換と実態確認。 ・「就労関係機関シート」と「取り組み内容一覧表」の精査
(全体会・運営会議へ特に報告が必要な内容) 進捗・成果	<p>【第 1 回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の取組継続である「就労関係機関シート」と「取り組み内容一覧表」を精査し、できるだけ専門用語を使わずに誰でもが理解できるものを、外部に発信していけるように作成していくことについて⇒初めてのメンバーが多いため、情報共有や一覧表の確認に時間をかけた方が、今後の検討をしていくにあたり、イメージが付きやすいため、1 番目に取り組むこととなった。 ・企業がタイムリーに就労移行支援事業所等を見学できるようなシステムづくりについては、ワーキングに移行して取り組んだ方が良いとの意見が出た。 ・実習先の開拓については、その都度状況が変わるため、時期に関係なく、いつ取り組んでも成果が出る。まずは実習制度の仕組みについて確認していくこととなった。

	<p>【第2回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「就労関係機関シート」、「取り組み内容一覧表」をメンバーで確認し、情報・意見交換を行いながら、情報を追加した。今後も情報は随時追加していく。 ・ジョブコーチをされているみのわの里工房はくさん深川さんより、ジョブコーチについて説明してもらい、情報共有を行った。 ・障害者雇用について、取り組みを共有するための体系図（牛木課長補佐作成資料）を元に、意見交換を行った。 <p>【第3回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5期長岡市障害者基本計画・障害者福祉計画について、資料を基に、情報交換を行いながら検討し、目標値を決定した。 ・目標値の達成（障害者雇用の促進）のためにはどういった取り組みが必要か等について意見交換を行った。 <p>【第4回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の最後の取組方針「実習先開拓にかかわる情報交換と実態確認」を行った。 ・現状について、部会内で情報交換を行った結果は、以下の通り。 実習先が少ないのではなく、実習先はあるが、行けるような利用者がいない現状。ナカポツとしても、実習先が足りていない状況とは思っていない。登録先で間に合っている。（(例) 実習に出したい利用者はあるが、特性に合った仕事がなく、話をいただいても、断らざるを得ない…など。） ⇒実習先の開拓については、優先順位としては、高くないのかもしれない。 ワーキングで行っている、企業との接点づくり（名刺交換会やセルフチェックシートなど）の取り組みが、実習先の開拓などにも、つながっている。 ・今回の情報交換・実態確認で終了。 <p>【第5回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取り組みについて ①企業が就労支援事業所を見学できるようなシステムの検討については、ワーキングへとつなげることができた。②実習先開拓については、部会メンバー間で情報交換と実態確認を行い、課題として取り組むかを検討できた。③「就労関係機関シート」と「取り組み内容一覧表」については、各事業所の取り組みが共有できるよいツールであり、活用方法や内容についての精査を今後も継続できるとよい。 ・来年度の取り組みについて 就労移行支援事業所それぞれで就労訓練を行ってはいるが、何か新しいこと等を試みた際には、人手不足が課題となる。 →事業所が個々で行っていることを中立的に行えるものがあるとよいのではないかと（目に見える形で、事業所にプラスになる取り組み）。
今後の検討の方向性	
運営会議への伝達事項等	

